



明治大学校友会  
福岡支部だより

明治大学校友会福岡市支部事務局

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2

セントラルホテルフクオカ内

TEL 092-712-1212

# 風のふくおか

20号

2007年7月

お陰様で20号！  
さらに30号、40号をめざして！



— 学校・校友会の「広報」として  
校友皆様の「ひろば」として—

# 支部長挨拶



さる6月1日の福岡県支部総会には例年のことながら大学側から長吉理事長並びに坂本教務部長が、また校友会を代表する青木会長(寿福93才の大先輩)が、これまた例年のことながら名古屋からはるばる御来福戴き、大学の

現況と全国校友会の“校友会館建設をめぐる最後のお願い”という形で3年目の御丁寧な御挨拶がありました。

われらが“母校明大”はみなさんも御存知の様に明治23年の秋、慶応と共に、早稲田に先だち日本の私立大学のトップとして誕生した由緒ある大学だけに私達としても、その歴史と誇りを忘れることなくいつまでも応援してゆかなければならないと思うのです。

さて、そこで例の大学本部会館のなかに完成した“校友会館建設費10億円”の負担金として、福岡県

の場合1,800万円を引き受けさせられたわけで、結局県下のみなさんに大変な負担をお願いすることになったわけですが、残り62万円を残して大学に寄付することができ、面目を施すことができました。

改めて厚く御礼を申し上げるところです。

しかしまだ62万円をどのようにしてゼロにするか?という問題は残っていますので今後ともみなさんの御協力をお願いして止みません。

さて話題は一転しますが、さる6月3日、西日本新聞の創立130周年記念事業の一つとして行われた明治大学と早稲田大学のラグビー部の対抗戦が福岡市の“博多の森球技場”で8,400人という大観衆のなかにつつまれて、これまたすばらしい熱戦がくりひろげられたわけでした。結果は21対17で明治が負けましたが、そのすばらしい試合の展開に、私は後輩たちのすばらしい発展を祈りつつ帰って参りました。

さて、いまからではいささか早過ぎますが“明治が生んだ古賀メロディー”が10月上旬に福岡市の天神にやってくることになっておりますのでさらに一言御挨拶申し上げておきます。

# 福岡市地域支部 収支決算書・予算案



## 明治大学校友会 福岡市地域支部 平成18年度 収支決算書

日 平成18年4月 1日  
至 平成19年3月31日

(単位:円)

収入の部			支出の部		
費目	予算額	決算額	費目	予算額	決算額
<b>I. 地域支部会費収入</b>			<b>I. 事業費</b>		
年会費	895,000	732,000	全国大会会費	249,000	93,000
地区費	430,000	352,000	地区部・大学等交流会	90,000	36,200
別荘交流会費	410,000	328,000	その他交流会費	35,000	33,800
<b>II. 広告収入</b>			<b>II. 広報費</b>		
会誌および広告	330,000	180,000	地域支部会費発行費	370,000	339,300
<b>III. 寄付金収入</b>			会費徴収費		
福岡(株、会)	30,000	25,000	支那センター建設費	200,000	220,000
伊藤(支社、会)	30,000	30,000	III. 運営費	300,000	281,000
<b>IV. 雑収入</b>			会費徴収費		
賞状金	200,000	200,000	I. 総務会費	150,000	63,800
定款利息	20	273	II. 地区部会費	90,000	71,700
その他雑収入	399,000	46,000	III. 活動経費	410,000	387,700
ついでに校友会収支基金収入		600,437	IV. 学費	580,000	589,100
			事務費		
			I. 印刷費	200,000	212,000
			II. 印刷代	180,000	87,100
			III. 印刷・販売・送料等費	30,000	24,800
			IV. 会費	10,000	4,600
			V. 雑費	30,000	28,300
			VI. 予備費	200,000	0
小計	2,800,000	2,755,710	小計	3,000,000	2,481,000
前年度繰越金	1,632,458	1,632,458	次年度繰越金	1,433,478	1,808,144
合計	4,432,458	4,388,168	合計	4,433,478	4,389,144

上記の通りご報告いたします。

平成17年4月20日

会計 善敏治

会計監査の結果、上記記載に相違ないことを認めます。

平成17年 月 日

監査役 松野正和

監査役 井手幸美

## 明治大学校友会 福岡市地域支部 平成19年度 予算案

日 平成19年4月 1日  
至 平成20年3月31日

(単位:円)

収入の部			支出の部		
費目	18年度実績	19年度予算	費目	18年度実績	19年度予算
<b>I. 地域支部会費収入</b>			<b>I. 事業費</b>		
年会費	732,000	690,000	全国大会会費	60,000	180,000
地区費	352,000	450,000	地区部・大学等交流会	36,200	30,000
別荘交流会費	328,000	690,000	その他交流会費	33,800	30,000
<b>II. 広告収入</b>			<b>II. 広報費</b>		
会誌および広告	180,000	430,000	地域支部会費発行費	339,300	330,000
<b>III. 寄付金収入</b>			会費徴収費		
福岡(株、会)	25,000	50,000	支那センター建設費	220,000	220,000
伊藤(支社、会)	30,000	50,000	III. 運営費	281,000	93,000
<b>IV. 雑収入</b>			会費徴収費		
賞状金	200,000	200,000	I. 総務会費	63,800	50,000
定款利息	273	270	II. 地区部会費	71,700	50,000
その他雑収入	46,000	30,000	III. 活動経費	387,700	400,000
ついでに校友会収支基金収入	600,437		IV. 学費	589,100	580,000
			事務費		
			I. 印刷費	212,000	210,000
			II. 印刷代	87,100	130,000
			III. 印刷・販売・送料等費	24,800	25,000
			IV. 会費	4,600	10,000
			V. 雑費	28,300	30,000
			VI. 予備費	0	200,000
小計	2,755,710	2,570,270	小計	2,481,000	2,570,000
前年度繰越金	1,632,458	1,808,144	次年度繰越金	1,908,144	1,808,144
合計	4,388,168	4,378,414	合計	4,389,144	4,378,144

特集

20号に寄せて、思い出のシーンやなつかしい人々の写真を集めてみました。



明治大学校友会 福岡支部総会 昭和58年9月13日 於 セントラルホテル福岡

昭和58年総会の時の写真  
1回では入りきらず2回に分けて撮りました



昭和62年第1回韓国同窓会参加の時の写真



平成12年の  
総会のワンシーン

平成11年新年会で、  
故 木下健先輩もみえます



明福ゴルフ会の表彰式 (故 森先輩)



故 緒方先輩の絶妙の乾杯トーク

平成16年全国校友福岡大会



昭和62年  
連合支部設立総会時の  
受付してくれた青年。  
だれでしょう？



蒲原順次先輩の葬儀

平成11年新年交礼会  
ソウルで  
韓国の徐賢慶総領事のあいさつ



平成12年の冬の明福ゴルフ会

## 平成19年 新年交礼会



平成19年の新年交礼会は1月25日セントラルホテルフクオカで行われた。昨年も参加者が100名を越えていたが、今年も130名近くの校友が集まり、共に新年を祝った。会は古賀支部長の挨拶で始まり、古賀父母



絹笠久留米支部長の乾杯

会長が来賓の挨拶をされ、久留米の絹笠支部長が乾杯の音頭をとられた。絹笠支部長は乾杯の前に気学の面から今年亥年を「昔から戌亥 借金(投資)、辰巳 返済(売却)といわれ、投資をする年です」などと興味深い話をされた。

そして和やかな歓談に移ったが、今年の新年交礼会も、進行やアトラクションは若手の平成会が中心になって計画し、新年にふさわしく楽しく愉快なものであった。各テーブルには懇親を図れるようにいろいろ

な年代の人が座り、中でもテーブル對抗ウルトラクイズでは先輩後輩が智恵を出し合っていた。

今回はゲストとして、海外青年協力隊でモンゴルに数年間住んだ坂本毅さん(H3高卒)に二胡の演奏を披露していただいた。素朴で哀愁に満ちた二胡の音色に魅了されたが、圧巻は全員で「ふるさと」を歌い、老いも若きも立っての大合唱になった。まさに「歌を愛する明治! 団結の明治!」を感じるワンシーンだった。

今年の新年交礼会も、KBC九州朝日放送の逸見さんに司会をしてもらったが、絶妙なトークと愉快的な司会進行で和やかで楽しい会であった。



坂本さん(左)の二胡の演奏での「ふるさと」の大合唱

## 平成19年 福岡県支部総会



韓国同意会の社長のあいさつ

平成19年度の福岡県支部総会は6月1日に行われた。来賓として、明治大学から長吉泉理事長、坂本恒夫一部事務部長、大六野ラグビー部部長、校友会から青木信樹会長、福岡県父母会から塩瀬会長以下3人がおいてになった。

まず、総会では昨年度の事業報告や今年度の事業計画などが矢谷幹事長から提出され、次に会計報告及び予算案報告が善会計担当幹事より提出され異議なく承認された。また、今年度は役員改選に時期にあたり、田川支部支部長、それに若松支部、戸畑支部の幹事の交代があり、それぞれ新しい方が選任された。

次に長吉理事長が大学の近況を話された。

明治大学はこの9月からサービスの徹底を図るため、16の部を7つに、60の課を19にするなどの事務機構の改革に着手



和やかにテーブルを囲んで

する事や、国際日本学部やスポーツ科学部など新しい学部の創設などの話をされた。坂本教授は今年受験生の数が10万2000人になり、10万人を越したのは早稲田と明治だけだと、喜ばしい報告をされた。また、校友会の青木会長は93歳のご高齢にも関わらず、福岡に足を運ばれ、これからもお互いに学校の方にいつも目を向けて語り合っていこうと話され、満場の拍手を受けられた。

次に会場を変え、懇親会に移った。絹笠副支部長の開

会の挨拶に続き台北駐福岡経済文化辦事處の周處長(S50法院)が乾杯の音頭をとられ、和やかな懇親に入った。今年度は韓国支部から朴元錫会長はじめ10人の方々が参加され、青年部の尹さんが皆さんを紹介された。朴会長は「10年もたてば、自然の風景も変わるのに、福岡の皆さんの心は20年たっても変わらず温かい。」と挨拶された。さらに副会長より教育振興資金に300万円の寄付があった事を報告された。韓国、台湾そして福岡と近隣の校友との交流が進み、国際色の濃い総会になった。

さて、今回も平成会の若手グループが楽しいアトラクションを考えてくれた。名づけて「ムカデゲーム」。お隣さんとじゃんけんをして、負けたら相手の後ろにくっつき、それを繰り返して何十もあつたグループが最後には2つになり、最後のじゃんけんで景品を取りあうゲーム。ただのじゃんけんなのに皆さん童心に帰り真剣にじゃんけんをしよう姿は、微笑ましいというかあきれるというか……。しかし、みんな楽しそうに景品をもらっていました。

最後に、みんなで肩組み校歌を歌った後、明治大学と校友会にそれぞれエールを交換して楽しかった県支部総会を終わった。



台湾の周處長の乾杯の音頭



「ムカデゲーム」勝ったぞ!

## 第20回 韓国同窓会

恒例の明治大学韓国同窓会が6月9日に開催されました。今年は日韓の交流が始まって20周年の記念すべき年にあたり、6月1日開催の福岡県支部総会には韓国支部から10名の校友参加を頂くなど記念の年に相応しい交流の催しとなりました。

9日朝、福岡空港に校友及び家族参加を含め14名が集合、いざ出発という時に問題発生。赤壁 幸哉氏のパスポートの有効期限が4月で切れていることが判明、税関の壁は非情で如何ともし難く赤壁氏は無念のリタイア。13名で韓国に向かい出発しました。



20回目の韓国同窓会

同窓会は、同日17時より例年通りソウルのロッテホテル37階で開催されました。先にソウル入りしていた長谷川先輩も含め福岡県支部からは14名参加、大学本校からは福島啓充監事が来賓として来韓され、当支部の綱笠団長と共に来賓挨拶をされました。今年の韓国同窓会の司会は全て日本語で行われました。これは昨年末の台湾支部総会に日韓台の3ヶ国が参加した時に通訳が煩雑な為、「明大校友会の共通語」として日本語で司会が行われた流れに沿うものであり、今後我々の交流が一層国際化する兆しだと感じられました。

更に今年、会長に就任された朴 元錫会長より校友会としては大韓民国支部が正式名だが、私達は先輩方の歴史を重んじ「韓国同窓会」の名称を踏襲するとの言葉があり、我が支部との永い交流と思い重ね、報告記のタイトルは「韓国同窓会」を続けるべきと思いました。

引き続き懇親会に移り、同窓会は和やかな雰囲気で行われました。昨年末の台北で、また1週間前に福岡で酒を酌み交わした親しい韓国校友との歓談は楽しく時の過ぎるのも忘れる一時でした。また今年は女性校友の参加も多く、私がお話した李 鶴仙女史は、なんと国際女性跆拳道（テコンドー）連盟の総裁。小柄で穏やかな風貌からはとても想像も出来ず驚きました。他にも多くの韓国の先輩との話は尽きなかったのですが、会も終盤となり次回、台北での再会を約束し韓国校友と握手を交わし同窓会を終えました。

ホテルに帰りネクタイを外し部屋で一息ついていると、青年部長の尹さん（6月3日の明早ラグビーと一緒に観戦した韓国校友）から電話があり、二次会に福岡の校友が一人もいなくて先輩方が寂しがっている、急いで来て欲しいとの事。早速ネクタイを締

め直し参加しましたが、焼酎グラスをテーブルに置く隙もなく、受けては返す韓国式の飲み方に敢えなくダウン。ただ、二次会で韓国校友が語ってくれたエピソードは心に感じるものがあり良く覚えています。

皆さんは6月1日の県支部総会に大学から長吉理事長が来賓として来られたことはご存じと思いますが、実は韓国支部校友が交流20周年大会を盛り上げるため理事長の来福を企画し、長吉理事長を「兄貴」と呼ぶほど親しい嚴 泰又氏が直接理事長に連絡し、韓国支部も福岡に行くから必ず理事長も福岡に来て欲しいとお願いをしたそうです。

理事長来福の要因は幾つか有ると思いますが、その1つに韓国支部校友の我が支部に対する熱き思い、20年育まれてきた友情が有ることを知り心が熱くなりました。しかし記憶はそこまで、後はどうやってホテルに帰り着いたか思い出せません。

翌朝、韓国語のモーニングコール。今回のガイドは朴さん？金さん？・・・、実は声の主は野田 武雄氏婦人の加世子さん、ご主人は仕事で奥様だけの参加。旅行中の面倒見の良さと、達者な韓国語はまさにガイド扱、すっかり諸先輩方のアイドルとなりました。

朝食を済ませバスで水原へ。世界遺産の水原華城と、華城行宮を見学、城壁に囲まれた都市の景観は一見の価値有り、私が世界遺産登録前に一人で来た時より随分と設備が良くなっていました。見学を終え再びソウルへ。ソウルでは各自自由行動、私は先輩方と包丁で俎板を叩きまくる有名な「NANTA」ショーを見学、個人的には今回の観光で一番の収穫、堪能しました。自由時間では夜、上杉先輩、筑豊支部の福澤先輩方が屋台で偶然に韓国支部の青年達に出会ったりとか各々楽しい思い出を作ったようです。

最終日はホテルから仁川国際空港に直行、13時の大韓航空便で福岡に戻りました。記念すべき20周年同窓会も無事終わり、「さあ、次は台北だ」。

韓国から戻ったばかりですが、心は早くも台湾支部総会（11月～12月）へ。韓国、台湾校友と再会することを考えただけでも、気持ちはワクワク。今年は皆さんも一緒に台北へ、お待ちしております。

(S52商卒 佐藤 洋)



二次会風景

明治大学校友会台湾支部2007年総会  
11月17日(土)18:00～「台北市国賓ホテル 楼外楼」  
で開催されます。

## 南の会

福岡市地域支部において、「東の会」に続き発会しました「南の会」も、この3月3日（土）には第4回目の開催となりました。いつもの会場、大橋駅「田すずめ」の2階を貸し切り、南区からは初参加の校友3名をはじめ、東は古賀市、最南は太宰府市、そして昨年発会されました「西の会」からも出席いただき、総勢40名の、ひな祭りとは無縁（参加いただきました女性陣にはゴメンナサイ）の校友が、土曜日と言うこともあり、いつになくラフな出で立ちで集合しました。昨年に続き、台北駐福岡経済事務所の周校友から紹興酒の差入れをいただきましたことは言うまでもありません。この場を借りて御礼申し上げます。さて、会の進行は、地方選挙前ということもあり、校友市議の紹介や挨拶・激励と、さながら選挙の出陣式を思わせるような雰囲気の中、ひとたび乾杯するやいなや、いつもの大杯一気飲みがスタート。初参加で、やや緊張気味の校友も、飲み干した後は旧知の仲のよ

うな間柄。場所を移動しては、注しつ注されつ、の間柄。つくづく明治大学とは、よい学校だな！福岡市地域支部は本当に仲のよい支部だな！と改めて感じさせられ、最後は恒例の明治大学校歌斉唱にての締めくくりでした。今回は都合で欠席されました方々、まだ出席されておられない校友の方々、次回はぜひご出席くださいますよう、第5回南の会の案内が届くまで今しばらくの間お待ち願います。（南の会事務局より）（昭56政経卒 鈴木弘幸）



土曜日でゆったりした  
雰囲気南の会

## 西の会「国友スモモ園」で花見会

3月18日（日）西の会井手会長（31年工卒）の呼びかけで花見会を催した。今回の花見は桜花ではなく、西区女原の国友先輩（37年法卒）所有のスモモ園で催した。スモモ（酢桃、李）は、中国を原産とするバラ科サクランボの落葉小高木で、スモモの果実はモモのそれに比べ酸味が強いのでこの名があります。「スモモも桃も桃のうち」という言葉がありますが、桃とは異なる品種です。

当日は天候にも恵まれ、広大な敷地に手入れの行届いた約200本のスモモの枝に桜よりやや小さな真白な花がびっしり咲いている様はまさに圧巻であった。その一角を借り神永先輩（37年法卒）の鍋奉行ならぬバーベキュー奉行の指揮のもと花見を楽しんだ。

当日は統一地方選挙前哨戦の忙しい中、西区地盤の田中久也先輩、木原正勝先輩も駆け付けられた。また、素晴らしい会場をご提供いただいた国友先輩には、前準備や特に奥様にはおいしい豚汁まで用意していただき、参加者全員感謝々でした。

### \* 西の会連絡事務所が変更になりました。

西の会事務所  
福岡市西区姪の浜4丁目21-1 クリーンコートハイ 201  
「田中久也事務所」  
TEL 092-891-6363（担当 中牟田 文史）

### \* 西の会よりお知らせ

10月13日（土）18:00～ 定例懇親会を開催します。  
場所 割烹「三四郎 室見本店」 会費 5,000円  
当日は懇親会のほかOBによる30分程度の講演も予定しています。

（昭49工卒 井手 健）



まるで桃源郷のよう  
なスモモ園での  
バーベキュー

明治大学校友会  
福岡県支部長

古賀 愛人

（昭和18年・24年・政経学部卒）

大名総合法律事務所

弁護士 岩崎 明弘

（昭和34年・法学部卒）

事務所 〒810-0041  
福岡市中央区大名2丁目2番26号  
親和ビル3階  
TEL (092) 781-0019番・781-0025番・771-1967番  
FAX (092) 781-0102番・771-1967番

## ラグビー早明戦

14年ぶりに九州で開催となった春早明。約8500人のファンが歓声を送った。前半、明治はBKの運携ミスやインターセプトされ5分間の間に3トライ3ゴールを決めてしまった。だが、後半は前半とは打って変わって果敢に1対1の局面でも勝負を挑み、接点での強さを見せつける。セットプレーも安定し、ラインアウトからラックを形成して前進する得意の攻撃パターンに持ち込むなど実力を発揮。九州出身の山口（政経2）もトライを決めるなど存在感をアピールし、後半は早稲田を0点に抑えた。負けはしたがトライ数は同じ。「徐々に自分達のやりたいラグビーに近づいてきた」（藤田ヘッドコーチ）明治。12月2日の国立では明治の勝利が見られることだろう！（明大スポーツ3年 高山展嘗）



もう少しだ！がんばれ明治！



上杉先輩の懸命のエール

## 第45回 駿台ゴルフ会

そろそろ入梅かと心配しながら6月7日にザ・クラシックゴルフ倶楽部にて駿台ゴルフ会コンペを開催いたしました。当日は心配とは裏腹に非常によいコンディションの中でゴルフをプレーすることが出来ました。

今回の賞品は、お肉やお米、そうめん、フルーツなど、家庭に持って帰って家族の笑顔が期待できるものばかり、参加した私も参加賞でさらに卵が貰えるのならば、お肉はすき焼きに、それでご飯を食べて、デザートにフルーツを……。などと、その日の家族の団楽を頭に思い描きながらクラブを振ったのですが、その夢は妄想となり実現は出来ませんでした。結局、持ち帰ったのは参加賞の卵と各支部からいただいたビール、山分けぶんのみ、その夜の家族の視線は皆さんのご想像通りでした。

その日活躍なさったのは、優勝 山川弘則さん（小倉支部・38年商卒）、準優勝 周 碩穎さん（福岡市支部・50年法卒）、ベストグロス光安 力さん（福岡市支部48年・政経卒）と矢谷 学さん（福岡市支

部・50年法卒）の、諸先輩でした。

皆さん最後まで楽しく清々しいプレーで終わられたことを、非常に嬉しく思い、次回以降さらに盛会になることを祈りながら、この記事を書いている筆者でした。

参加なさったみなさん、各支部のお世話をしてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

（S60工卒 佐野貞和）



いい天気で楽しいゴルフができました

**ダイニッカ株式会社**

市場開発本部

参 与 内田 紀生

（昭和40年・法学部卒）

〒813-0062 福岡市東区松島3-3-5  
TEL (092) 621-1631(代)

本社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-9-5  
TEL (03) 3552-3151(大代)

明宅会

**イースタン産業(株)**

代表取締役 野口 順四郎

（昭和41年・法学部卒）

福岡市東区多の津4丁目8-1

TEL (092) 611-4423

FAX (092) 611-4572

活魚料理 食事処

**杉庵**

会 長 上杉 鷹雄

（昭和33年・商学部卒）

〒813-0062

福岡市東区松島3-16-11

TEL 611-7284



明大在学中の神永昭夫さん

4月11日、上記のようタイトルで明大校友14名が、中央区にある「すみび」という店に集まりました。神永昭夫さん（33年商卒）といえば・・・そうです！東京オリンピックの柔道無差別級で、オランダのヘーシンク選手と戦った、あの神永昭夫さんです。神永さんは昭和33年商学部卒で、福岡市支部幹事の神永正夫さんはその弟君です。

事の起こりはこうです。発起人の一人である明柔会名誉会長の岩崎勇先輩（30年 政経卒）は、20年ほど前から神永さんが来福のおりは、いつもここで一緒に飲んでいたそうですが、その際、店の人に頼まれて書いた色紙が久しぶりに見つかったというのです。この話を何人かの校友が聞き、是非その書を見ながら神永さんを偲んで語ろうということになり、岩崎さん、清水保一さん（34年法卒）、佐々木義宣さん（37年文卒）が世話人となり有志の方々に声をかけられ、会が催されたわけです。



東京オリンピックでのヘーシンクとの試合

当日は参加者がそれぞれ神永昭夫さんの思い出などをテーマに、盃を傾けながら語り合いました。ある先輩は、神永さんの19人抜きに（高校3年の時、東京・講道館で行われた紅白試合での19人抜きの新記録を作りその日いきなり三段に）憧れて明治の柔道部に入り、4年間がんばってきた事や、またある先輩はその頃新婚時代だったのでその頃の思い出話を、また東京オリンピック当時小学生だっ

たある校友は、ヘーシンクのあまりの体の大きさに「ヘーシンクは悪いやっちゃ」と祖母が叫んだという思い出話などを披露してくれました。

神永さんは日本中の期待を一身に背負ってヘーシンクと戦いましたが、残念ながら敗れました。しかし、神永さんの真骨頂はこれからで、敗れた翌日も朝一番に会社に出社し、黙々と仕事をこなされ、その後もモントリオール五輪無差別級優勝の上村春樹さんを育てるなど、日本の柔道や世界の柔道界に多大の貢献をされました。人を見るにその底の時の身の処し方を見るとありますが、神永さんはまさに負けた時からの行動や信念が私達を惹きつけます。求道者の心で柔らの道を求めたその姿は、NHKの「プロジェクトX」でも取り上げられ、ご覧になった方も多いのではないのでしょうか。



集まった有志の皆さん

の後もモントリオール五輪無差別級優勝の上村春樹さんを育てるなど、日本の柔道や世界の柔道界に多大の貢献をされました。人を見るにその底の時の身の処し方を見るとありますが、神永さんはまさに負けた時からの行動や信念が私達を惹きつけます。求道者の心で柔らの道を求めたその姿は、NHKの「プロジェクトX」でも取り上げられ、ご覧になった方も多いのではないのでしょうか。

神永昭夫さんは残念ながら平成5年、56歳の若さで病のために亡くなりました。しかし、明治の先輩にこういう方がおられた事に改めて誇りを感じますし、自分も明治でよかった！と思うのは私だけではないでしょう。東京オリンピックを知らない若い校友に、是非知っておいてもらいたい先輩です。

編 一本田博志



写真を見ながら思い出を語りあいました

HONDA

PARTS

Hondaの部品・用品の卸・販売会社

## 株式会社 ホンダパーツ西南

代表取締役社長 佐々木 義宣(昭和37年文学部卒・柔道部OB)

本社 〒816-0092 福岡県福岡市博多区東那珂3-2-12

TEL 092-433-0433

営業所 福岡・北九州・大分・佐賀・宮崎・鹿児島・山口





## 校友紹介1 ～絵画展を開かれた濱小路喜伴さん～

●●● Topic

古賀市在住の濱小路喜伴さん(昭38 法卒)が香椎宮参道の「NANの木ギャラリー」で、この5月、油絵の絵画展を開かれました。濱小路さんは現役時代、東京を振り出しに、千葉、群馬、舞鶴、大阪、仙台、鎌倉といわゆる「転勤族」で各地を回られました。その先々で絵心を沸き立たせる日本の豊かな自然に触れ、絵筆を握ってこられました。そして、その作品は市原市美術展の市長賞をはじめ、第9回、第10回の「上野の森美術館・日本の自然を描く展」に連続入選されるなど、高い評価を受けておられます。

今回、忙しい時代にもかかわらず描かれた、上記作品を含む力作7点を展示されましたが、ご覧になった方々から、描かれている四季折々の日本の風情が素晴らしいと賞賛の寄せ書きが書かれてありました。

濱小路さんは大分宇佐出身ですが、現在は古賀市に住んでおられ、現役を退かれた後、油絵やゴルフ、自然散策と多忙なスケジュールを楽しんでおられますが、

一方マンションの管理主任者の資格を取得されるなど、生涯学習を実践されておられます。



ご自分の絵の前で

校友の方々が見に来て  
くれました



## 校友紹介2 ～遠藤啓子さん(昭46 政経卒)～

●●● Topic



(財)AFSという高校生の留学組織のボランティアスタッフとして、20数年活動しています。AFSというのは、戦争のない平和な世界の実現を目指し、高校生の交換留学によりホームステイを通して互いの国の文化を理解しようという

非営利団体です。現在、50数カ国にネットワークを持ち、毎年200～300名の学生がAFSを通して海外に留学をし、また日本に留学にきています。

私はAFS福岡支部のスタッフとして、いつもホストファミリーの募集、一般高校生との交流キャンプの企画や、福岡から留学したい高校生のお世話をしています。もともと小中高高校生対象の進学塾をしまして、AFSの方からお声がかかったのがきっかけです。

私は、神戸出身なのですが、通訳をめざして高校時代に放課後毎日英会話学校に通ってました。でも、もっと他の事も学びたいと思い、明治大学政治経済学部に入學しました。学生時代は、オーケストラ部でヴァイオリンを弾いてました。当時は学生運動でロックアウトもありましたが、とても充実した学生生活でした。明治大学を誇りに思っております。就職も、その後の仕事でも明治の先輩にずいぶん助けられました。

昨年、ワシントンDCに本校を持つ「LADO International College」の福岡パートナーズ校になりました。高校生～社会人の英会話スクールを始める事になりました。ワクワク半面不安半面といった毎日です。興味のある方はHPをご覧ください。(http://www.enjuku-school.com)のエンジュークスクールをクリックして下さいませ。

内緒ですが、私、お笑いが好きで最近大道芸人としてあちこちに出没しています(笑)。

### 懇親会のご案内

福岡市地域支部の懇親会を下記の通り開催いたします。是非ご出席下さい。

- 日時 平成19年9月7日(金) 18時30分～20時30分(予定)
- 会場 セントラルホテルフクオカ・3Fダイヤモンドホール  
福岡市中央区渡辺通4-1-2 TEL092-712-1212
- 会費 5,000円  
(但し、女性校友及び平成12年卒以降の校友は4,000円)
- 問い合わせ先  
福岡市地域支部幹事長 矢谷 学(昭50法卒)  
TEL092-631-3336(三栄印刷)



代表取締役  
**松山 孝義**  
(昭和60年 法学部卒)

**松山建設株式会社**

〒810-0011 福岡市中央区高砂2-24-23  
TEL 092-533-0001 FAX 092-533-0002  
e-mail:tm1999@pop06.odn.ne.jp



## 寄稿文 「日本柔道育英学会講道学舎」のこと ～内田紀生（昭40 法卒）～



柔道界に講道学舎ありとその名を全国区、いや世界に知らしめたのは今から15年前、平成4年のバルセロナ・オリンピックであった。日本に貴重な金メダル二つをもたらした古賀稔彦選手と吉田秀彦選手が学んだ全寮制の柔道私塾として「財団法人日本柔道育英学会・講道学舎」の名が一躍クローズアップされたからであった。それからアトランタ・オリンピックを挟んでシドニーの金メダリスト滝本誠選手、またアテネオリンピックの銀メダリストの泉浩選手までの間、国際柔道競技大会は勿論のこと国内でも全国中学校柔道選手権大会や全国高校柔道選手権大会などにおいて講道学舎で学んだ柔道学生の目覚ましい活躍が続いた。（吉田、泉選手は共に明大OB）その講道学舎を創設し、学舎学頭兼日本柔道育英学会第五代目会長横地治男が私が在職するダイニッカ（株）の会長（平成19年3月28日死去享年96歳）であった。「財団法人日本柔道育英学会・講道学舎」の成り立ちは以下の通りである。戦後の日本が一番貧乏の時に食うや食わずで育った人達は子供を教育する間がなかった。柔道は占領時他の武道と共に一時GHQに禁止されていたが、その後許され昭和30年代に入って世の中が激変、柔道を兼ね他のスポーツも盛んになった。

だが昭和39年の東京オリンピックで日本柔道はオランダのヘーシンクに敗北した。

「これじゃいかん、私の心中には日本の精神を自分たちが守っていかなければいかんという思いと本家日本の柔道が落魄、そして日本人の心までがなくなってしまう事を恐れた」と横地会長は言う。柔道というより、武道を通して日本人の精神を守っていくことが自分の義務だと思った頃、作家の井上靖先生や財界の重鎮、長野重雄元日本商工会議所会頭、桜田武元日経連会長らとの間で、「昭和の松下村塾といえる柔道私塾を引き受けてくれ」と言われ本職であるケミカル商社「ダイニッカ株式会社」を経営しながら、昭和50年2月3日東京・世田谷区駒沢に「講道学舎」を建設した。土地400坪、建物は4階建て2面の公式道場を持ち、寄宿舎、バス・トイレを備えたあの時代としては近代的な施設である。当時私は九州地区8事業所に在職している社員を動員して土曜日、或いは日曜日にも九州柔道協会を始め九州各県の柔道協会や中学校、高校の指導者の先生方、また町道場の先生方をお訪ねして設立の主旨を説明、ご協力を仰いだ。九州は武道の盛んな土地柄であったからだ。当初はどこの馬の骨とも分からぬ者の所へなど大事な子供は預けられない、と言った批判や非難が集中した。

横地会長は言う。「かつて吉田松陰は、伊藤博文、高杉晋作、山形有朋といった明治維新で奔走した青年たちと松下村塾で生活を共にして、傍ら俊才を育てた。それと同じように全寮制、寄宿舎生活で子供たちを育てよう、それも多感な中・高一貫指導で柔道に打ち込みながら、普通の中・高校授業も身につけさせよう」と独自の形態でスタートした。中学は世田谷区立弦巻中学、高校は私立世田谷学園高校へそれぞれ入学し講道学舎から通学する。一学年10人、6学年60人を限度に全国から柔道少年を集め、柔道の祖・嘉納治五郎先生の教えである、「指導者が寝食を共にしないと弟子は育たない」を守り、自宅は学舎のすぐ近くにありながら「俺は単身赴任だよ」と笑い飛ばしていた。

ちなみに講道学舎の綱領は

- ①日本柔道育英学会の本義は日本民族の優れた資質を呼び

起こし、刻苦勉強して自ら立ち、世界人類の為に貢献しようとする国家有為の人材育成にある。

②講道学舎は日常起居を共にし、互いに切磋琢磨し柔道の修業を通してよき性よき質を培う人間形成の道場である。

③学員は健全なる国家社会の形成者として真理と正義を愛し徳実剛健をもって本務を全うし柔道の修業に邁進する。というものが生徒の中には小学校を終えたばかりの中学1年生もいる。そんな生徒に横地会長は分かりやすくこう語りかける。

「日本一の桃太郎」一に体力 二に勉強 三に睡眠  
四、五は柔道 六は食事当番  
七、八柔道親に手紙も忘れまい。

寮生活は過酷だ。平日は午前5時40分起床。起きて10分間で洗面トイレをすませ、そのまま7時まで柔道稽古。それからママさんを兼ねた4人のスタッフが作った朝食をとり、弁当を受け取って学校へ。（ママさんと呼ばれている女性は横地会長の3女で、講道学舎の常務理事の中山美恵子氏である）放課後部活を終えて帰舎、午後5時より7時半まで講道学舎での練習が続く。学校を世田谷学園高校と弦巻中学に限定したのは登下校の時間が異なったりすると全寮制の中では非常に指導が難しくなるからだ。

横地会長は朝稽古及び、夕方の稽古にはよほどの事がない限り毎日立ち会い指導する。6カ年の修業を終えた者は個性、学力、能力に応じてそれぞれの分野に進む。過去の修業生の中には医学部に進学して現在厚生労働省に入省している者もいるし、またある者はミュージシャンになった者もいるし、またある者は専門の知識を積んで医療介護保健士になった者もいて、まさに綱領の中の「刻苦勉強して自ら立ち世界人類の為に貢献する」にふさわしい自立心を実践している。

ある修業式・入寮式（学舎ではこのようによぶ）で横地学頭は「諸君らの凛とした顔がいい。そういう顔をした男をつくるのが講道学舎だ」。また理事の一人でオウム・サリン事件で陣頭指揮をとった元警視總監の井上幸彦副学頭は「講道学舎魂は礼節と忍耐だ」と訓辞を述べられた。

学舎創設以来32年間いろいろな形で講道学舎と関わってきた。また我々の母校明治大学に幾多の後輩を送り込んだが、私自身学舎の生徒たちと同様に横地学頭を始め各界の先生方から「真の好漢（おとこ）」とはかくあるべきだと言うことを教えて頂いた事をしみじみと感謝している。

（この稿は平成13年日刊中央通信社が発行した「講道学舎会報」より抜粋して記した。）

ダイニッカ株式会社勤務  
内田紀生（昭和40法卒）



講道学舎の全景



## 全国大会のお知らせ

今年も広島です。詳しくは大会事務局にお問い合わせ下さい。(TEL 082-249-8256)

第13回

**明治大学 全国校友**

**広島大会**

飛躍と友愛

～みんなで楽しむ安芸の宮島・紫雲の集い～

開催日 平成19年11月4日(日)

会場 リーガロイヤルホテル広島  
〒730-0011 広島市南区美土町6-79 TEL: 082-942-1121

●記念式典 12:00 受付開始  
13:00 開式

●イベント 記念講演  
講師 三浦孝小波 三氏

●懇親会 16:30～18:30





大会事務局  
〒730-0011 広島市南区美土町6-79 TEL: 082-249-8256 FAX: 082-249-8259



## 講演師 神田紅 芸道30年独演会のご案内

「全国大会のあの感動を今一度」

2004年、全国校友福岡大会で多くの皆様が感動を味わった「古賀政男物語」の講演が公演されます。あの時、私たちのために神田紅さんが書き下ろした「古賀政男物語」。まだご覧になっていない方、またあのすばらしい講演を聞きたい方。ぜひお越しください。

まもなく古賀政男先輩の没後30年がめぐって来ます。懐かしい古賀政男氏の映像や永遠の古賀メロディーも加わった音楽講演をお楽しみください。

昼、夜の二回公演で、演題が昼の部は「柳原白蓮・物語」で、夜の部が「古賀政男・物語」です。お間違えなきように、申し込みは、昼の部か、夜の部か明記の上、ご連絡先と送付先をご記入し、FAXしてください。券をお送りいたします。

- ◆日時 平成19年10月9日(火)
- ◆会場 エルガーホール・8階大ホール(大丸デパートの裏側のビル)
- ◆独演会
  - ・昼の部 13時30分 開演(13時開場)
  - ・夜の部 18時30分 開演(18時開場)
- ◆入場料 独演会: 昼の部、夜の部、どちらも、それぞれ、4,000円
- ◆懇親会 5,000円(会場: 福岡国際ホール: 神田紅を囲む会: 20時40分開始)
- ◆申込み FAXで事務局の善まで。FAX: 092-771-2028



## 陶芸家・北岡秀雄校友をお招きして

◆◆◆ Topic

6月12日に陶芸家・北岡秀雄校友を講師にお招きして明志会を開きました。北岡校友は政治学科卒業後、子どもの頃から目指していた芸術の世界に飛び込まれました。当初、油絵を志されますが、断念し陶芸の道へ。以後、数々の賞を受賞されました。若い後輩達に「人生は道を極めること。自我を解放できる何かを見つけるべき」とエールを贈っていただきました。時折、笑いを交えながら楽しい話に参加者の中には好きな女性の口説き方を質問する人も。

人生の大先輩の含蓄のあるお話のあとは懇親会。各々の近況報告で盛り上がりました。ちなみに会場になった「まりも」は中村校友の実家が経営されている

サッポロラーメンのお店。中洲にあった本店は昨年火事で焼失しましたが、近く中洲に本店を再出店するそうです。(S59政経卒 松本請郎)



北岡先輩(中央)を囲んで

(株)九電工  
駿台会

顧問

コウ ツキ

上月 武志

Takeshi

Kōzuki

知るを楽しむ、知るを学ぶ

株式会社 プライド旅行

福岡県福岡市中央区舞鶴2-8-6クラージュ舞鶴804

TEL 092-739-9200 FAX 092-739-9230

福岡県知事登録第3-626号

携帯 090-4474-8742

E-mail fukuoka@prideryokou.com

URL www.prideryokou.com

株式会社 善工務店

常務取締役 善 敏治

(昭和50年・工学部卒)

〒810-0021

福岡市中央区今泉1丁目21-13

TEL 771-3731



<http://www.meidai-fukuoka.jp/>

ゆっくりとですが、ニュースや活動を報告する場として更新しています。最近では、6月3日に「博多の森球技場」で開催された明治大学体育会ラグビー部春季早明定期戦のお知らせや、7/25に開催した恒例の平成会懇親会inピアガーデンの様態などを掲載しております。

Yahoo!やgoogleなどのポータルサイトで、「明治大学 校友会」をキーワードに検索すると簡単に見つけることができますので、是非一度ご覧ください！

最後に、現在平成会を中心にホームページ管理・更新をしておりますが、お手伝いをしていただける方やアイデアを募集しています。下記アドレスまでどしどしご応募ください。また校友皆様からの忌憚のないご意見も下記アドレスにてお受けいたします。

meidai@nsk-ad.jp

(平8文卒 石迫弘久)



## — 教育振興協力資金募金活動 —

大学が校友会館「紫紺館」を建設して頂き、校友会の拠点となり、活動は益々活性化すると思われま。建設のご厚情に応えるべく教育振興協力資金の募金活動を始めましたが、平成19年5月末日現在、全国で5億円を超えました。県支部は254名4法人4団体から募金いただき、目標1800万円に対し1738万円と後一步となりました。何度も郵送しましたので、すでに募金された方から、苦言を頂きました。県内5400名への郵送作業上の都合や、更なる募金をお願いしたく、同封しましたことをお許し頂きたいと思ひます。募金活動は続きますので、ご協力宜しくお願いします。



### 「福岡支部だより」

は平成10年の創刊号以来、号を重ね今回で20号を迎える事になりました。これもひとえに

母校を愛する皆様方のご声援の賜と厚くお礼申し上げます。いくつかの支部でこのような広報誌を発行していますが、10年にわたって20号も続いている支部はないようです。まさに福岡支部校友の進取の気質さかん！という証なのでしょう。

さて、支部だよりは、大学や校友会の「広報機能」と、校友の皆さんの「ひろば機能」を持っていますが、支部だよりを更に中身の濃い、充実したものにするために、20号を機に次の3つを提案したいと思います。

①現在、東の会や南の会、西の会など地域を基にした集まりや、博覧会や平成会など年代でくくったサークルなどがありますが、(明志会という自己啓発のサークルもありますが)好きな事や興味のある事などで集まる同好会やサークルを作りませんか。例えばウォーキング、歴史探訪、写真、マージャン、ゴルフ、囲碁、絵、釣り、書道・・・etc.好きな事を好きな同士が気軽に集まって行動する。思わず楽しそうな光景が浮かびます。そういった呼びかけに支部だよりをご利用していただくというのはいかがでしょうか。

②また、校友皆さまの俳句や短歌あるいはエッセイや紀行文などを掲載していきたいと思っております。是非投稿をお願い

したいと思います。

③支部だより発行には、印刷代や郵便代などの経費が必要です。広告代で賄うようにはしてありますが、まだまだ足りません。年2回の発行にどうぞ広告をお願いいたします。支部だよりの次なる10年をめざして、どうぞよろしくお願いいたします。以上の3つです。

さて、福岡支部だより20号を機に、いくつか紙面を変えてみました。まず表紙を「風がふくおか(吹く丘)～福岡支部だより」としました。次に紙を光沢紙に変え、文字を明朝体から丸ゴシック体に変えてみました。如何だったでしょうか。ご意見をお待ちしております。

最後になりましたが、いつも広告を出していただいております校友の皆さまに厚くお礼を申し上げます。よい紙面づくりに今後も頑張ってまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

なお、①②③に関する問い合わせやご意見は、  
TEL(092)922-7179 本田博志までおよせください。

編集委員長	本田 博志 (昭52 法)
委員	佐野 貞和 (昭59 工)
〃	三井 成隆 (平4 商)
〃	今井 葉子 (平4 営)
〃	石迫 弘久 (平8 文)
校友会事務局	矢谷 学 (昭50 法)
〃	高野 礼子 (平元 法)

機能だけではなく、  
快適という基準  
今からのまちに必要だと思う。  
誰もが感じる気持ちよさ  
これからもいろんなところで  
カタチにしていきたい。



いつも人が  
発想の原点。

株式会社

**松本組**

代表取締役社長 松本優三 (56年商学部卒)

[本社] 〒812-0054 福岡市東区馬出1丁目1番19号 TEL.092-651-1031 (代)